

トーチとゆっこのオリエンテーリング技術講座

最終回

森田有希子

インカレも終わった。ゆっこの所属する静岡大学女子チームもインカレ団体戦で4位を達成。果たして、昨年インカレが終わった時の反省は活かされたのだろうか？ゆっこはインカレが終わった今、それを振り返る。



ゆっことチームメートたち

静大女子便りと共に、今回で最後となった技術講座。今回のお題は、「この1年のインカレへのアプローチを振り返って」で、書いてみようと思います。これを読んで、1年間の歩みに興味を持たれた方は、ぜひ静岡大学のHPへお立ち寄り下さい。静大女子便りがHP上にアップされています。きっとあなたも、今年の静大から目が放せなくなると思いますよ！

Q：昨年度のインカレの反省が活かされたか？

X：日光インカレでどんな反省をしたの？

Y：悔しいって思ったの。何が悔しいかって、何だったんだろうな？結果が出なかったからかな？でも、どんな結果が出たら悔しいって思わなかったのかな？どんな結果を目標としてきたのかな？ただ、ただ、悔くて、みんなで「来年こそは！」と言ってインカレのムードに

酔いしれていただけだったのかもしれないな。そう言っている内は、反省なんてしていなかったんだろうな。

毎年のように、インカレ後の感傷に浸っている静大女子の所へ、辛口OG登場

S(OG)：毎年同じ悔しい思いをしているけど、来年もこのままだったら同じだよ。何かを変えなきゃ、あともうちょいの壁を乗り越える事はできないんだよ。

Y：何かって何だろう？？？

インカレが終わってから色々考えたけど、今までの事を色々反省しようと思ったけど、反省することが無い・・・いや、反省点が無かった・・・こうすればよかった、ああすればよかったというのはいくらでも出てきたけど（これってただの後悔？）こうする為に何が足りなかつ

たというのが無かった。だって、こうする・したい！っていうはっきりした目標が無かったから。こうなったらいいなあくらいのものしかなかった気がするな。そんなだったから、何かをやらなくてはいけないというのも無かった。結局、インカレへの臨み方から全てが反省だったんだな。

「何か」はわからずじまいだったけど、スタートを切るのは簡単。何でもやり始めさえすれば違う事をやる事になったから。手探り状態だったけど、最初に始めたのが、「静大女子便り」。そして、「目標」。

女子便りは、毎月こつこつ出してって、このおかげでみんなの事たくさん知ることができたし、自分を知ってもらえる事もできたし、トレーニングする励みにも、刺激にもなった。多くの人に、静大女子の事知ってもらえる事もできた。

変わるためにやる事が、女子便りでいいのかは最後まで不安だったけど、今となってはやってよかったし、変わったきっかけになった気がする。インカレ前に、「自分達はやってきた！」と言えるだけのものと、自信が持てたのも、昨年度のインカレとは大違い。「女子団体戦入賞」の目標も達成できたし。団体戦後、多くの方から「静大やったね」って声かけてもらえて、静大の事を気にかけてくれてたという事が何よりうれしかったな。「やってきてよかった」って思いました。結果はもちろんだけど、インカレへの臨み方に満足しています。そんなわけで、去年のインカレの反省は十分生かしたインカレでした。

Q：コーチや周囲の環境をうまく利用できた？

Y：最初はコーチと言う存在に対して、すごく大きな勘違いをしていたんです。Qちゃんと小出監督とか、Sさん（辛口OG）とKさん（ロベス似）に憧れていたんです。マンツーマンで、自分だけを見てくれるという風に（後者は違う関係だけど）、でも現実ではそうではなくて、「私だけではないということに嫉妬していました（笑）」

この事をSさん（辛口OG）に相談

S：ゆっこは、コーチを恋人と勘違いしているよ。それぞれに求めるものは違うんだよ。恋人に求めるものをコーチに求めてはだめだよ。

Y：なるほど。恋人には自分の味方でいて欲しくて、自分をわかっていてもらいたい。コーチには自分のオリエンテーリングをわかっていてもらいたくて、オリエンテーリングのアドバ

イスをしてもらいたい。境界線は部活と勉強のように、何にでも必要と言うことに気付きました。

さらに、「ゆっこを見たい」と言ってくれるコーチが欲しいと思っていました。これも大きな勘違いで、待ってるだけでは何も始まらなくて、見たくなるような選手に自分がなくなてはいけないし、自分からアタックしなくては始まりません。Tコーチには思い切ってアタックしてよかったです。

この原稿を書いている思った事は、学生という立場は周囲の環境をたくさん利用できて、おいしいという事です。この原稿もM先生に声をかけてもらったのがきっかけです。そのおかげで全国誌に記事を書けることができたし。M先生のマッサージャーになれたおかげで、「Mさんのマッサージャーのゆっこです」で顔と名前覚えてもらえたし。憧れのRかさんやKっしーさんと一緒に写真取れたし。WCでは運営を手伝わせてもらい、着物まで着れて、外人選手にチュウしてもらえたし。静大女子便りを出すのも、静大女子にたくさん協力してもらえたし。

学生の際は、自分がすごくがんばって1人で動かなくても、周囲がその場を提供してくれたり、引きずり込んでくれました。おいしい蜜をたくさんすすわせてもらいました。もちろん、声がかかるように目立つ努力は最低限必要でしたけど。今年は十分に回りの環境を利用させてもらったし、寄って来てくれるような働きかけもできたと思います。

これからは、自分で自分の場を作っていかなくてはいけません。そして、今まで周囲の人

に作ってもらっていた場を今度は作って、提供する立場になるんです。それもなんだか楽しみです。

学生の皆さん、おいしい蜜を吸えるように、いろんな所に飛び回って、自分をアピールして、どんどん目立って下さい！！

ほんのちょっとの勇気で、目立てて、知り合いできて、速い人達と話ができて、アドバイスもらえて、表彰台に近付ける。一石何鳥にも広がっていくんです。来年のインカレも自分次第ですよ！！